

2020年
1月号
第60号



連合しもきた

発行 下北地域協議会
議長 荒川 一
TEL 0175-22-7911
FAX 0175-23-8400



2020年1月17日旗開き 山内事務局長の挨拶



2020下北地協新春旗開き 荒川（JP労組）議長の挨拶。

東京オリンピックが開催される年にむけて

連合下北地域協議会に結集する組合員の皆さま、そして構成組織の役職員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。日頃より連合運動にご理解とご支援をいただいておりますこと、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返ると2019年は選挙の年でありました。統一地方選に始まり10月のむつ市議会議員選挙まで、あらためて、組合員の皆さまにはこの間の取り組みにご尽力いただいたことに感謝申し上げます。また、昨年は災害の多い年でもありました。台風19号に係わる広域にわたる豪雨、河川の決壊による大規模浸水は、記憶に新しいところでもあります。あらためてお亡くなりになった方々に衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災した方々に心よりお見舞い申し上げます。今回の台風を含め、自然災害はいつ自らの身に降りかかるかわからない、行政での減災防災対策だけでなく、自然災害や生命、疾病に対する保障を「こくみん共済コープ」で備える、預金や各種ローンで将来に向け「ろうきん」で生活設計を組み立てる、といった対策をし、自らも備えていくという意識を共通認識として持ちたいと思います。

さて、国政に目を向けると昨年7月に行われた参議院議員選挙では野党が議席数を伸ばしたものの未だに安倍1強体制が続いておりますが、その後の「桜を見る会」の問題、「IRをめぐる汚職事件」と政権のほころびが見えてきています。衆議院は秋に解散になる見込みと言われておりますが、野党が力を合わせ連携しなければならないということを確認し、それに向けて私たちもしっかりと将来を見据えた戦いをしていくという意思を固めたいと思っております。

連合が結成され30年がたち、あらためて連合が結成された意義を踏まえ、昨年6月に成立した働き方改革法案も今年4月から中小企業でも義務付けられ、努力目標ではなく罰則規定ありとなります。この法案についても働く者の立場に立った改革にすること、労働者の意見をしっかりと根付かせていくことが重要だと思っております。とりわけ非正規問題の根幹でもある同一労働同一賃金の問題についても、連合では「フェアワーク推進センター」を発足し、確実な格差是正に取り組んでいくとしています。

子年は政変の多い年と言われております。下北地協は構成組織との更なる連携を強め、力を結集し、真に組合員の幸せを追求するために活動していくこととします。東京オリンピックを迎える令和2年の年が組合員・ご家族の皆さまにとって幸せな年となりますよう、心よりお祈りいたします。

